

# めぐみイエス・キリスト教会

2022年5月1日(日)第一主日礼拝  
週報「通算第606号」



## 2022年標題聖句

### 第 I テモテへの手紙御6章17節～19節

《高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置き、善を行ない、立派な行ないに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

|        |                             |        |
|--------|-----------------------------|--------|
| 【前奏祈祷】 |                             |        |
| 【賛美Ⅰ】  | 新聖歌458「光の高地に」               | p. 734 |
| 【交読文】  | No.19 詩篇第51篇(抜粋)            | p. 893 |
| 【賛美Ⅱ】  | 新聖歌505「主われを愛す」              | p. 807 |
| 【使徒信条】 |                             |        |
| 【主の祈り】 |                             |        |
| 【先週説教】 |                             |        |
| 【賛美Ⅲ】  | オリジナル曲No.16「ラッパを吹き鳴らせ」      |        |
| 【聖書朗読】 | 使徒の働き16章11節～15節(新約p. 267下段) |        |
| 【礼拝説教】 | 《ピリピのリディア(ルデヤ)》             |        |
| 【聖餐式】  |                             |        |
| 【賛美Ⅳ】  | 新聖歌165「栄光イエスにあれ」            | p. 235 |
| 【平和祈り】 |                             |        |
| 【頌 栄】  | 新聖歌63 「父・御子・御霊の」            | p. 85  |
| 【祝祷後奏】 |                             |        |

### ※本日の聖書箇所(使徒の働き16章11節～15節)

16:11 私たちはトロアスから船出して、サモトラケに直航し、翌日ネアポリスに着いた。

16:12 そこからピリピに行った。この町はマケドニアのこの地方の主要な町で、植民都市であった。私たちはこの町に数日滞在した。

16:13 そして安息日に、私たちは町の門の外に出て、祈り場があると思われた川岸に行き、そこに腰を下ろして集まって来た女たちに話をした。

16:14 リディア(ルデヤ)という名の女の人が聞いていた。ティアティラ(テアテラ)市の紫布の商人で、神を敬う人であった。主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留めるようにされた。

16:15 そして、彼女とその家族の者たちがバプテスマを受けたとき、彼女は「私が主を信じる者だとお思いでしたら、私の家に来てお泊まりください」と懇願し、無理やり私たちにそうさせた。

## ●ポイント1. 「ピリピ」とは？

■ピリピ エーゲ海を南に望む、マケドニヤの主要都市で、海港ネアポリスから北西へ15キロほど入った、パンガエウス山北東の平原にあった。

紀元前356年、マケドニヤの王フィリッポス2世(アレクサンドロス大王の父)がパンガエウス山の金鉱開発のために、クレニデスと呼ばれていた町を拡張して城塞都市とし、自分の名前に従ってフィリッピ(ピリピ)と改名した。金鉱は大量の金を産出したことが知られている。しかし、紀元前168年、ローマ軍がマケドニヤ最後の王ペルセウスを破り、翌年以降ローマ帝国がマケドニヤを4地区に分割して支配し、マケドニヤ州として統合され、州都はテサロニケに移された。オクタヴィアヌスは、紀元前31年にアントニウスとクレオパトラにアクティウム海戦で勝利を収めてから、勝利を記念してピリピをローマの植民都市とした。以後この町は、免税や自由を含むローマ市民の特権が与えられ、二人の長官が統治していた。

新約聖書時代、ピリピは軍事的にも通商的にも重要な位置を占め、マケドニヤ地方第一の都市となっていた。住民は、ローマ人が退役軍人を中心に約半分、ギリシヤ人が半分で、ユダヤ人は会堂を持つには少数であったが、パウロによってヨーロッパ最初の教会がこの町に誕生した。

## ●ポイント2. 「ティアティアラ(テアテラ)」とは？

■テアテラ 小アジア西部のリュディアとムシヤの州境の町で、ペルガモの南東60キロ、ヘルムス川の支流リュコス川に沿う肥沃な平原地帯にある。シリヤのセレウコス1世が設立してティアティアラと命名したが、紀元前133年にローマの統治下に入った。それによって、重要な通商路を持った有利さから商工業都市として発展した。ここには、様々な同業組合があり、亜麻布、銅細工、皮革加工、染色、羊毛の紡織(ぼうしょく)などの業者が組合を形成していた。ピリピでパウロからバプテスマを受けた紫布の商人リディア(ルデヤ)という婦人は、この町から赴いて来ていた。この紫布はティアティアラの地方に産するあかね草の根で染めたものである。

## ●ポイント3. 「主は彼女の心を開いて」とは？

※ヨハネの福音書15章16節～19節「主イエスの言葉」(新約p.216下段)

## ◎先週の礼拝メッセージの概要【復活から一週間後】

《さて今日は、復活の一週間後の出来事について学びます。先週の初めの日の朝、マグダラのマリヤと女たちは、園の真新しい墓に急ぎます。

そこで二人の御使いと遭遇します。御使いは彼女たちに主イエスの伝言を伝えます。「さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。そこでお会いできます。」と。

さっそく彼女たちは、弟子たちに「喜びの知らせ」を伝えに走ります。しかし、弟子たちには、この話はたわごとと思え、誰も信じようとはしなかったのです。そしてその日の夕方のことです。弟子たちがいたところでは、ユダヤ人を恐れて戸に鍵がかけられていましたが、主イエスが来て彼らの真ん中に立たれたのです。「平安があなたがたにあるように。」

こう言われてから、主イエスは手と脇腹を示されます。しかし、この時なぜか、トマスはいなかったのです。弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と証します。トマスは「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じない」と言うのです。

そして、その一週間後のことです。以前と同じように、この時にも、戸に鍵がかけられていましたが、主イエスがやって来たのです。この時にはトマスも彼らと一緒にいました。「平安があなたがたにあるように。あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」と主は言われました。

この言葉は、トマスだけにではありません。すべてのクリスチャンに向けて語られています。私たちは案外、心の奥底から全面的に、主イエスを信頼していないのです。残念ながら私たちは、当時の弟子たちのように、主の御声をじかに聞くことも、またその御顔を見ることも、触れることも出来ません。しかし、主イエスは私たちに「もう一人の助け主」をお与えになりました。そのお方が、主イエスが約束された御霊(聖霊様)なのです。このお方は、私たちの内におられ、いつも共にいて下さいます。》

## ◎お知らせ

※5月8日(日)第二主日礼拝は、午後2時からとなります。時間変更にご注意下さい。5月29日第五主日礼拝は特別メッセージとなります。